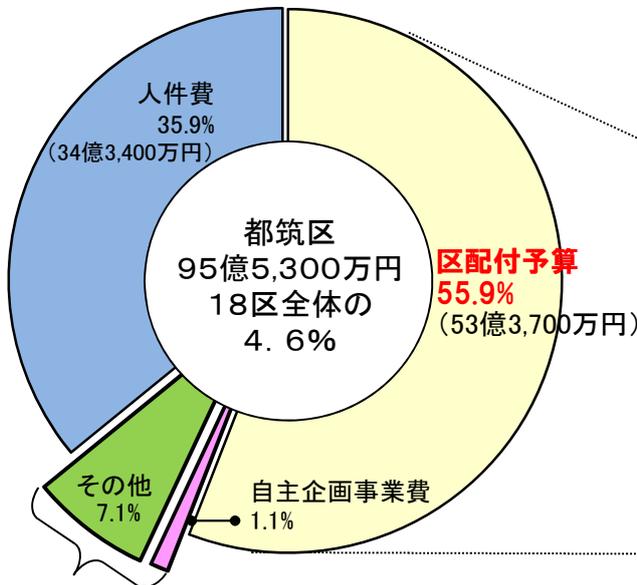


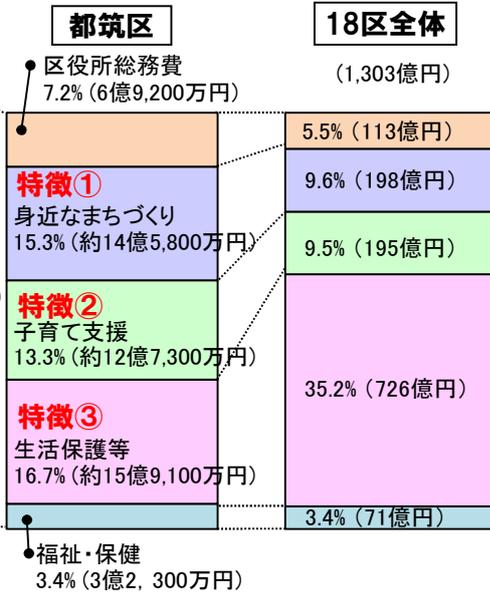
都筑区に係る予算のすがた（令和3年度一般会計予算）

一般会計は、福祉、保健、道路・公園の維持管理など基礎的な行政サービスを行う会計で、主に市税（市民税及び固定資産税など）が使われています。横浜市の一般会計の規模は2兆73億円ですが、このうち区が執行している予算の規模（区の人件費を含む）は2,061億円です。

【グラフ1 都筑区の予算規模】



【グラフ2 区配付予算の構成】
～18区全体との比較～



区づくり推進費 8.2% (7億8,103万円)

【内訳】	金額
自主企画事業費	1億87万円
その他	6億8,017万円
統合事業費	1,902万円
統合事務費	2,222万円
区庁舎・区民利用施設管理費	6億3,893万円

注：各項目で四捨五入をしているため、合計額と一致しない場合があります。

都筑区の予算の特徴

令和3年度一般会計予算の中で、都筑区の人件費を含む区が執行している予算の規模は、約95億5,300万円となっており、18区全体の予算のおよそ4.6%を占めています。

このうち、区が自律編成を行う「個性ある区づくり推進費」は、約7億8,103万円となっており、都筑区に係る予算の約8.2%となっています。

「個性ある区づくり推進費」は、地域の課題やニーズに迅速かつきめ細やかに対応するための「自主企画事業費」や、広報よこはま区版の発行経費等の「統合事業費」、郵送費や消耗品費等の「統合事務費」、区総合庁舎や区民利用施設の管理・修繕費などの「区庁舎・区民利用施設管理費」で構成されています。

区に係る予算の中でも大部分を占めているのは、局から予算配付を受け区が執行している「区配付予算」で、都筑区全体の約55.9%に及び、予算額は約53億3,700万円となっています。

「区配付予算」の都筑区の特徴

①「身近なまちづくり」(土木事務所が執行する道路・公園等の維持管理に係る予算)・・・約14億5,800万円
公園面積は161万7,981㎡で18区中3位の面積を有しており、予算額は18区中3位となっています。

②「子育て支援」(市立保育所の運営や放課後児童育成などに係る予算)・・・・・・・・約12億7,300万円
年少人口(0～14歳)は、構成割合・人数ともに市内で上位であり、予算額は18区中5位となっています。

③「生活保護等」(生活困窮者に対する扶助費を支給するための経費などに係る予算)・・・約15億9,100万円
生活保護費支給世帯数は令和3年3月末現在1,195世帯であり、世帯数、予算額共に18区中18位となっています。

令和3年度 主な事業内容

(単位:百万円)

分類	予算	説明
個性ある区づくり推進費	781	区の裁量や創意工夫に基づき自律編成する予算
自主企画事業費	101	区が地域の課題やニーズに迅速かつきめ細かく対応するための予算及び各局から配付されていた予算を束ねたもので、局が定めた一定の条件に基づいて地域の実情に応じて編成・執行する予算です。
統合事務事業費 区庁舎・区民利用施設管理費	680	生活保護や戸籍・住民登録等に係る事務費や、区庁舎や地区センターなどの区民利用施設の管理運営に係る経費です。
区配付予算	5,338	局からの予算配付を受け、区が執行している予算
区役所総務費	692	(総務部が執行する予算です。)
賦課徴収費	140	市税の課税・納税に関わる償還金や還付加算金、納税通知書の作成や発送するための経費などです。
広報費	13	「広報よこはま」や「県のたより」の配布謝金など、広報・広聴に係る経費です。
統計調査費	7	各種統計調査を行うための経費です。
その他	532	戸籍住民登録の事務費、自治会・町内会組織助成などを行います。
身近なまちづくり	1,458	(土木事務所が執行する予算です。) *下水道事業を含む 1,679 百万円
道路修繕費等	955	道路の修繕や交通安全施設の整備・補修などを行います。
河川維持管理費等	78	準用河川の維持管理や親水水路の維持管理などを行います。
下水道事業(※参考)	(221)	既設管の修繕や共同排水設備の受託施工などを行います。
公園管理費等	425	身近な公園の維持管理や老朽化した公園施設の改良などを行います。
子育て支援	1,273	(福祉保健センター等が執行する予算です。)
市立保育所運営	477	保育に欠ける乳児、幼児を保育する保育所の運営費などです。
放課後児童健全育成	531	地域の理解と協力のもと、保護者の就労等の事情により、留守家庭となる児童の保護及び遊びを通じた健全な育成を行う放課後児童クラブ運営委員会への補助金などです。
その他	266	小児医療費助成、児童手当・児童扶養手当の支給などを行います。
生活保護等	1,591	(福祉保健センターが執行する予算です。)
生活保護	1,470	生活困窮者に対して、国の定める基準により、その困窮の程度に応じて扶助費を支給するための経費などです。
生活困窮者自立支援	122	生活保護に至る前段階の生活困窮者に対して、国の定める基準に基づき、自立に向けた包括的な相談支援を実施するための経費などです。
福祉・保健	323	(福祉保健センターが執行する予算です。)
障害者福祉	130	身体障害児・者の身体機能を補う用具、日常生活を円滑にするための各種用具の給付・貸与を行うほか、障害状況等に合わせた住宅改造や自立支援機器の購入・取付に関わる経費の助成などを行います。
高齢者福祉	25	老人クラブへの助成や寝たきり高齢者等への日常生活用具の給付・貸与に関わる経費。介護予防型のデイサービス事業(介護保険対象外事業)などを行います。
その他	168	地域ケアプラザの管理運営経費や民生委員・児童委員の活動費の支給などを行います。
人件費	3,434	
職員人件費	3,434	総務局人事部労務課公表「令和3年度職員人件費予算の目安」より
合計	9,553	(※) 下水道事業を含む 9,774 百万円

・各項目で四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。

・年間を通じた概ねの配付額を算出していますので、あくまでも区に係る予算の大まかな全体像を示した内容となっています。現時点では区への配付額が未定のため、区へ配付する予定額を18区均等配分したものや按分したものも含まれています。

<個性ある区づくり推進費総括表>

(単位：千円)

区 分	令和3年度	令和2年度	増△減
1 自主企画事業費	100,867	101,026	△ 159
2 統合事務事業費	41,234	41,261	△ 27
(1) 統合事務費	22,216	22,421	△ 205
(2) 統合事業費	19,018	18,840	178
3 区庁舎・区民利用施設管理費	638,931	639,534	△ 603
合 計	781,032	781,821	△ 789

<内訳>

1 自主企画事業費

施策の柱	令和3年度	令和2年度	増△減
(1) つながりと協働を育むまち	29,803	33,203	△ 3,400
(2) いきいきと健やかに暮らせるまち	17,656	17,323	333
(3) 活力とにぎわい、魅力あふれるまち	18,098	16,429	1,669
(4) 安全・安心なまち	27,767	24,725	3,042
(5) 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち	7,543	9,346	△ 1,803
合 計	100,867	101,026	△ 159

2 (2) 統合事業費

区 分	令和3年度	令和2年度	増△減
広報よこはま発行事業	10,272	10,240	32
市民相談事業	1,499	1,451	48
クリーンタウン横浜事業	1,590	1,552	38
消費生活推進員活動事業	493	448	45
緊急時情報システム運用事業	440	440	0
スポーツ推進委員支援費	1,807	1,309	498
青少年指導員事業	1,397	1,880	△ 483
学校・家庭・地域連携推進事業	1,520	1,520	0
合 計	19,018	18,840	178

3 区庁舎・区民利用施設管理費

区 分	令和3年度	令和2年度	増△減
区庁舎等管理費（光熱水費含む）	226,051	231,178	△ 5,127
区版市民活動支援センター	931	931	0
土木事務所管理費（光熱水費含む）	6,812	5,920	892
地区センター等管理費	149,604	147,563	2,041
ログハウス管理費	7,950	7,833	117
公会堂管理費（光熱水費含む）	33,329	33,820	△ 491
老人福祉センター等管理費	106,463	106,044	419
コミュニティハウス管理費	51,930	51,692	238
区スポーツセンター管理費	40,213	39,549	664
都筑多文化・青少年交流プラザ管理費	8,066	7,022	1,044
その他（広場・遊び場）	482	482	0
区庁舎・区民利用施設修繕費	7,100	7,500	△ 400
合 計	638,931	639,534	△ 603

令和3年度 都筑区個性ある区づくり推進費 自主企画事業費予算 概要

都筑区では、新型コロナウイルス感染症対策及び新しい生活様式に即した必要な取組を進めると共に、「**つながり**」「**活力と魅力**」「**安心**」を**実感できるまちの実現**を目指し、5つの柱に基づき自主企画事業費予算を編成しました。

ウィズコロナの時代にあわせて、災害等発生時における感染症対策をさらに進めると共に、中小企業支援や商店街振興により、都筑のまちを応援していきます。

施策1 つながりと協働を育むまち

予算額 29,803 千円(対前年度比 △ 3,400 千円)

人と人とのつながりが実感でき、互いに支え合える地域づくりを多様な主体と協働して進めていくため、団体間の連携促進、人材の確保など、地域支援の取組の充実を図ります。

また、第4期都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」を地域と共に推進します。

あわせて、共感と信頼の区役所づくりを進め、つながりづくりを支えます。



施策2 いきいきと健やかに暮らせるまち

予算額 17,656 千円(対前年度比 333 千円)

都筑区は年少人口の割合が18区で最も高く、平均年齢が最も若いまちです。子育て世帯に選ばれるまちとして、更なる子ども・子育てへの支援を図ります。

また、今後早いスピードで進む高齢化を見据え、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を進めるとともに、各世代に応じた健康づくりを進めます。



休日両親教室

施策3 活力とにぎわい、魅力あふれるまち

予算額 18,098 千円(対前年度比 1,669 千円)

都筑区には、魅力的な地域資源が数多くあります。都筑区ならではの都筑野菜、優れた技術を持つ中小製造業、文化、スポーツや商業団体などの地域資源を積極的に活用した取組を進め、コロナ禍においても活気あふれるまちを支援していきます。

また、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、更なるにぎわいづくりに取り組みます。

施策4 安全・安心なまち

予算額 27,767 千円(対前年度比 3,042 千円)

住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるまちを目指し、自助・共助による防災の取組や地域の自主防犯組織による防犯活動への支援などを行います。

また、地震や豪雨による被害で区民の防災・減災への関心が高まっていることを受け、地域や関係機関・団体と連携して震災や風水害に対する更なる取組を進めます。



避難所用間仕切り (感染症対策)

施策5 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち

予算額 7,543 千円(対前年度比 △ 1,803 千円)

中期4か年計画で示されている「ガーデンシティ横浜」の推進を踏まえ、都筑区においても、花と緑にあふれるまちを目指し、施策を進めていきます。

都筑区の地域資源である公園や緑道などの整備に取り組むとともに、区内の魅力ある豊かな環境資源を広く発信していきます。また、環境にやさしいまちを目指し、地球温暖化対策を進めます。

(単位：千円)

重点	No. 自主企画事業名	令和3年度	令和2年度	増△減
★	1 地域支援の種(たね)事業	1,191	1,018	173
★	2 都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」推進事業	3,737	5,842	△ 2,105
	3 区役所改善推進事業	12,057	11,683	374
	4 自治会・町内会支援事業	3,797	4,016	△ 219
	5 広報・広聴事業	2,291	1,955	336
	6 まちづくり総合調整事業	2,845	4,995	△ 2,150
	7 つづき“縁”ジン事業(市民活動・生涯学習支援事業)	2,844	2,844	0
	8 地域de育む青少年事業(青少年健全育成事業)	1,041	850	191

★	9 妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援事業	9,620	9,229	391
	10 保育所を拠点とした地域子育て支援事業	3,230	3,435	△ 205
	11 つづき健康づくりサポート事業(都筑区健康アクション!)	2,841	2,679	162
	12 地域で支える高齢者支援事業	813	828	△ 15
	13 障害者交流啓発事業	1,152	1,152	0

★	14 メイドインつづき推進事業	5,820	5,970	△ 150
★	15 街のにぎわいづくり事業	6,419	5,480	939
★	16 未来につなぐオリンピック・パラリンピック事業	600	910	△ 310
	17 文化活動支援・スポーツ振興事業	2,629	2,069	560
	18 都筑 国際交流プログラム	2,030	1,400	630
	19 横浜ビー・コルセアーズ応援事業	600	600	0

★	20 災害にそなえる自助・共助の推進事業	4,452	4,623	△ 171
★	21 危機管理対策推進事業	12,602	9,410	3,192
	22 安全・安心なまちづくり事業	9,782	9,782	0
	23 食と暮らしの安全推進事業	931	910	21

★	24 ハマロード・サポーター、愛護会等活動推進事業	4,789	4,659	130
	25 環境にやさしいまち推進事業	2,239	2,122	117
	26 つづき水と緑の魅力アップ推進事業	515	2,565	△ 2,050

※ 第1回市議会議員会議資料より更新がある項目については下線が引いてあります。

施策1 つながりと協働を育むまち

	R3 予算額	R2 予算額	増△減
1 地域支援の種（たね）事業 重点 <u>拡充</u>	119万1千円	101万8千円	17万3千円

地域社会は自治会町内会を中心に、地区社会福祉協議会や学校、NPO法人など、多種多様な関係者によりその運営が担われており、区役所も平成23年度から開始した地区担当制を通じ、地域社会との顔の見える関係を築いてきました。

地域社会が抱える個別課題の解決を支援するため、地域支援の種（たね）を蒔き、地域運営の総合力を高めめます。

1 コミュニティ応援アドバイザー派遣事業【新規】

地域支援の種（たね）事業を“人”を通じた支援の方策へとステップアップさせ、より地域に寄り添った支援を展開していきます。地区連合自治会等を対象に、個々の地域課題に対応したアドバイスを担う専門家「コミュニティ応援アドバイザー」を各地区に派遣し、地域運営の総合力の向上につなげます。（6月募集開始、1地区あたり上限3回、延べ6回）

2 NPO法人情報誌の発行【新規】

区内のNPO法人と、そのキーパーソンや日ごろの活動の様子などを紹介した情報誌を発行し、自治会町内会や地区社会福祉協議会、各種委嘱委員等、協働の地域づくりに携わる団体との連携を促します。（6月、10月、2月発行、各号8,000部）

2 都筑区地域福祉保健計画 「つづき あい」推進事業 重点 拡充	R3 予算額	R2 予算額	増△減
		373万7千円	584万2千円

令和2年度に策定した第4期都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」に基づき、福祉保健の取組への住民参加を促進し、地域活動団体や社会福祉施設等と行政が協働して、地域づくり、支えあいの仕組みづくりを進めます。

1 地域懇談会の開催

第4期計画推進にあたり、地域での課題共有・解決を促進するため、全ての連合自治会町内会・地区社会福祉協議会エリアで地域懇談会を開催します。

2 地域福祉保健計画推進体制強化事業

(1) 計画の推進を担う各関係機関をはじめとする関係者及び地域住民に対し、地域福祉保健計画の啓発を進めます。

(2) 庁内及び関係機関の連携強化を図りつつ地域支援を行えるよう、職員を対象とした研修を実施します。第4期計画推進にあたり、庁内及び関係機関の連携強化を図りつつ地域支援を行えるよう、職員を対象とした研修を実施します。

・職員向け研修：4月19日、23日、26日、28日、63名参加

3 地域福祉保健活動補助金

地域での活動や取組の支援を進めるため、「つづき あい基金」への補助を行います。

4 必要な人に支援が届く仕組みづくりの検討・支えあい連絡会の開催

各地域の支えあい連絡会を活用し、「必要な人に支援が届く仕組みづくり」について検討を進めます。

5 計画情報誌の発行

各地域での地域福祉保健計画を推進する取組を掲載した情報誌「つづき あい通信」を発行し、情報共有の一助とします。

6 都筑区地域福祉保健計画推進委員会等の運営

都筑区地域福祉保健計画推進委員会を開催し、第4期地域福祉保健計画の推進状況やその方向性、地域の取組について学識経験者や区民による意見交換の場とします。

また、併せて地域福祉保健計画推進のために子ども・青少年、高齢者、障害者、健康づくり及び生活困窮の各分野における意見交換を行う場を開催し、地域の取組を支援します。

7 発表会の開催

計画推進のための各地区の活動や取組を共有する場として、「つづき あいフォーラム」とパネル展を開催します。

- ・ つづき あいフォーラム：2月19日、都筑公会堂
- ・ パネル展：5月20日～5月26日、区民ホール
2月17日～2月22日、区民ホール

8 横浜市都田地区センター及び横浜市都田地域ケアプラザ開所準備【新規】

横浜市都田地区センター及び横浜市都田地域ケアプラザの開所に向けた準備をします。

- ・ 第2回横浜市都田地域ケアプラザ及び横浜市都田地区センター指定管理者選定委員会
：4月16日

3 区役所改善推進事業 拡充	R3 予算額	R2 予算額	増△減
		1,205 万 7 千円	1,168 万 3 千円

区民満足度の向上のため、来庁者の方が利用しやすい窓口サービスを提供する等、様々な取組を推進します。

1 区役所改善推進事業

(1) 窓口サービス等の改善を改革推進委員会等で検討し、実施します。

(2) 人権意識の向上を目的として、人権啓発講演会を実施します。(12月)

(3) Web会議を目的とした区役所内ICT環境の整備

民間企業など外部の組織・個人と円滑にWeb会議を実施できるよう、タブレット端末及びモバイルルーターを調達します。

2 区庁舎等環境改善

区民ニーズに対応した区庁舎等の環境改善を行います。

また、庁舎2階の環境整備を引き続き行います。

3 税理士等派遣事業

確定申告の時期（2月16日～3月15日）に、区民に身近な区役所において、専門知識を持つ税理士等の協力を得て確定申告（医療費控除の還付申告）に係る申告書の作成支援・受付を行います。

4 来庁者サービスアップ事業

窓口の丁寧なご案内と業務の効率化のため、こども家庭支援課に窓口案内員を配置します。（配置時間：8時45分～17時）

また、お子さま連れのお客様が安心して区役所を利用できるよう、待ち時間にお子さまと過ごせる場所を提供します。

4 自治会・町内会支援事業 拡充	R3 予算額	R2 予算額	増△減
		379万7千円	401万6千円

既存自治会町内会に対する各種支援を通じ、地域の活性化を図ります。併せて、地域のつながりに資する取組や自治会町内会への加入を促します。

1 自治会町内会長感謝会

自治会町内会長感謝会を開催し、永年にわたり尽力された会長に対し、感謝状を贈呈するとともに各自治会町内会長に対し、感謝の意を表します。

2 自治会町内会への情報提供

区連会資料を、8月を除く毎月、各自治会町内会あてに配送します。

3 自治会町内会加入促進

地域活動を促すため、自治会町内会への加入促進を連合町内会等と連携しながら行います。

- ・転入手続時の加入促進リーフレットの配布
- ・区内各駅や施設等での加入促進リーフレットの配架
- ・宅建協会横浜北支部と連携した加入促進リーフレットの配布
- ・加入促進のためのトートバッグの作成
- ・連合町内会等と連携した加入の呼びかけ
- ・自治会町内会活動を紹介する冊子を発行

5 広報・広聴事業 拡充	R3 予算額	R2 予算額	増△減
	229 万 1 千円	195 万 5 千円	33 万 6 千円

区民に積極的に区政情報の提供を行い区民生活の利便性を高めるとともに、区政への理解を深めます。また、広聴事業により多様化する区民ニーズや地域の課題を把握し、円滑な区政運営を図ります。

さらに、新型コロナウイルス感染症に関する情報を、広報紙や区ホームページ、ツイッター等の広報媒体を使って、速やかに発信します。

1 広報研修の実施

効果的な広報を通じて区の活動方針や施策に対する区民の理解を深めるため、主に広報区版に携わる職員を対象とした広報研修を開催します。

2 広報区版アンケート調査の実施【新規】

効果的な広報を行うため、広報区版に関するアンケートを実施します。また、アンケート応募者に対して抽選で、「都筑野菜」を提供する店舗で使用できる食事券等をプレゼントすることにより、区民へ広く「都筑野菜」を周知するとともに提供する店舗を応援します。

3 インターネット広報

区ホームページにおけるオープンデータの提供や若年層に向けたツイッター等での情報発信を行います。

4 PRボックスの活用

毎月1日に全駅のPRボックス見開き掲示板に広報紙の最新号を掲示するほか、毎月10日には広報印刷物の補充等を行い、イベント・お知らせ等の積極的な周知を行います。

5 ガイドブック発行事業

令和2年度に新規発行した「都筑区ハンドブック」の時点更新を行います。

6 主要事業説明等周知、地域における意見交換会

様々な機会を通じて区民の皆様からご提案やご意見をいただき、区政に反映させます。

(1) 主要事業説明等周知

「主要事業説明」を各地区連自治会町内会単位で行います。また、区内主要事業の広報区版6月号への掲載や、区民ホールでのパネル展示でも周知を行いました。

- ・ パネル展示：5月20日～26日、区民ホール

(2) 地域における意見交換会

地域課題について共通の理解を深め、解決に向けた検討を行います。

- ・ 地域のつどい：住民相互の話し合いや行政との意見交換会
- ・ 区長の気軽にトーク：地域で活動している団体と区長との意見交換会

6 まちづくり総合調整事業	R3 予算額	R2 予算額	増△減
		284 万 5 千円	499 万 5 千円

まちづくりに関する区民の声を聴き、地域の課題解決等を図るための検討や取組を進めるとともに、関係行政機関や区内企業・教育機関等との連携を進めます。また、地域の実情に応じたきめ細やかなまちづくりの普及・啓発を進め、区民主体のまちづくりを支援します。

1 企画調整・情報収集提供

(1) 東京都市大学との連携

地域課題に関する意見交換会（地域連携協力会議：6月）、学生による地域についての研究発表会（地域連携調査研究発表会：2月）等を行います。

(2) その他企業との連携

企業による学校出前講座（つづき博士倶楽部）を行います。

2 まちの課題解決

横浜市生活交通バス路線（318 系統）における冊子型時刻表の各戸配布（約 7,000 部）や利用啓発チラシを回覧する等、利用促進 PR の取組を進めます。

3 都筑区民文化センター（仮称）機運醸成事業

令和 6 年度に予定されている、都筑区民文化センター（仮称）の開館に向けた機運を高めるため、整備の進捗等を紹介する、区民文化センターニュースを発行します。

※開館予定時期は令和 5 年度から令和 6 年度に変更となりました。

7 つづき“縁”ジン事業 (市民活動・生涯学習支援事業)	R3 予算額	R2 予算額	増△減
	284 万 4 千円	284 万 4 千円	0 千円

令和2年度に整備を行ったオンライン対応機器を活用し、新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、市民活動・生涯学習支援のための活動のきっかけづくりや活動の支援、市民団体の育成を図ります。また、市民活動の担い手や施設における連携・交流が更に進むよう取り組みます。

1 はじめる（個人支援）

(1) 大人の学級

個人の学びを地域活動へ繋げることを目的とした講座を開催します。(6月～3月、全3テーマ、各5回程度、区役所会議室等)

(2) ボランティアベース都筑

ボランティア活動の促進をテーマにサロンを開催します。(5月～1月、全5回、区民活動センター)

(3) 輝く女性応援プロジェクト

「女性が住みやすく、活躍できるまち」を目指し、女性たちによるネットワークづくりの講座やイベントを開催します。(講座：10月～11月、全7回程度、区役所会議室等)
(イベント：3月、区民ホール等)

(4) 広報紙 きっかけマガジン「つづき“縁”ジン」の発行

市民活動・生涯学習の普及を目的として広報紙を発行するとともに、市民ライターを養成する講座を開催します。(発行：7月、10月、1月、3月) (講座：6月～11月、全7回、区役所会議室等)

(5) つながりカフェ

個人が市民活動を始めるためのきっかけづくりや市民団体間の交流を目的として、市民活動に関する交流会を開催します。(8月、12月、区民活動センター等)

2 ささえる（活動支援）

(1) 区民活動補助金

公益性が高く地域課題の解決に繋がる市民団体の事業に補助金を交付します。(応募数5団体)

(2) 縁ジンミーティング

市民団体のスキルアップを図る講座や登録団体の交流会を開催します。(7月、10月、区役所会議室等)

(3) 区民活動センター利用促進事業

センターの利便性向上を図り新規利用者を獲得するための事業を実施します。(通年：講座や相談のオンライン対応等)

(4) 市民活動・生涯学習合同成果発表会

区民活動補助金交付団体等の成果発表会を開催し、団体間の交流を図ります。(3月、区役所会議室等)

3 つながる（連携、交流）

(1) 区内の区民利用施設情報交換会

区内施設のネットワーク強化を図り、地域人材の発掘・育成を進めます。(6月、区役所会議室等)

(2) つづき人(びと)交流フェスタ

区内の市民活動団体等による活動内容の発表、団体同士の交流のためのイベントを実施します。(3月、区民ホール等)

8 地域 de 育む青少年事業	R3 予算額	R2 予算額	増△減
	104 万 1 千円	85 万円	19 万 1 千円

青少年の健全育成に取り組む団体を支援し、青少年のためのよりよい環境づくりを推進します。また、青少年が自主的に活動できるような事業を実施し、いきいきと活躍できる機会を提供します。

1 青少年支援者育成講座

青少年指導員をはじめとする青少年支援に関わる活動団体等を対象に、課題の共有やスキルアップ、情報交換等を目的とした講座や研修を開催します。

2 はあと de ボランティア

(1) はあと de ボランティア～中高生のための夏休みボランティア体験～

夏休み期間を利用して、中・高校生が、普段関わる機会が少ない年代や地域の方々と交流し、体験を通じて学ぶことで、新しい自分との出会いや新たな発見ができるきっかけとするために、ボランティア体験事業を実施します。また、施設や団体と連携して、中・高校生と地域をつなぐことによって、地域の大人にとっても、中・高校生に出会える場、新たな気づきの場となることを目指します。

(2) はあと de ボランティア プレコース（小学校高学年向け）

より早い段階からの意識づけや異世代間交流を促進するため、中・高校生向け事業と連携し、小学生向け事業を実施します。小学校5・6年生が、地域の大人や中・高校生と共に活動を体験する中で、社会性や自主性を身に付け、将来ボランティア活動に関心をもつきっかけを提供します。

(1) (2) 共通の今後の予定

- ・ オリエンテーション：7月22日、25日～26日、全6回、区内地区センター、都田小学校コミュニティハウス、つづきMYプラザ
- ・ ボランティア体験：7月27日～8月13日、区内各所（屋外中心）
- ・ 振り返り・修了証授与：8月14日、つづきMYプラザ

3 つづきウォーク&フェスタ

(1) つづきウォーク&フェスタ

緑道や公園等の区の魅力の発見や、青少年の文化活動の発表の場の提供、青少年を含む参加者の世代を超えた交流、健康増進を目的とした「つづきウォーク&フェスタ」の開催を支援し、地域のつながりを活用した青少年育成と健康づくりに取り組みます。

実施日：11月23日（祝）

(2) つづき“バーチャル”ウォーク&フェスタ

つづきウォーク&フェスタの開催に合わせて、青少年の文化活動映像の放映や緑道マップ・イラストの展示を実施します。

実施日：11月中旬～下旬、区民ホール

施策2 いきいきと健やかに暮らせるまち

9 妊娠期から学齢期までの 切れ目のない子育て支援事業 重点 拡充	R3 予算額	R2 予算額	増△減
		962 万円	922 万 9 千円

地域・学校・関係団体・区役所等が連携し、子育て支援のネットワークの充実、育児不安を抱える養育者への支援、様々な課題を抱えた子ども達の居場所づくりなど、妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援に取り組みます。

1 夫婦で子育て応援事業

就労をしている妊婦やパートナーが参加しやすいように、休日開催の両親教室を地域子育て支援センター P o p o l a（以下ポポラ）及びポポラサテライト会場で実施します。

両会場とも月1回実施し、安定期に入り初めて出産を迎える妊婦とパートナーがタイムリーに受講できるよう拡充します。

- ・ ポポラ：毎月第4土曜日、年12回
- ・ ポポラサテライト：毎月第2土曜日、年12回

2 0歳児地域育児教室（赤ちゃん会）

地域育児教室を区内14会場で各10回開催し、仲間づくりや育児相談をします。

3 外遊び広め隊事業

地域の外遊び団体や乳幼児の親子が継続的・自主的に外遊びを実施できるよう支援するため、地域で外遊びを実施している団体等を対象にした情報交換会（外遊び連絡会）を実施します。また、乳幼児の保護者や地域の人を対象に、外遊びの大切さを伝える「外遊び体験会」を区内の公園で開催します。

- ・ 外遊び連絡会：1月
- ・ 外遊び体験会：10月頃

4 子育てネットワーク事業

ポポラや区社会福祉協議会、地域ケアプラザと協力して、関係機関の情報・意見交換・研修（子育てネットワーク会議）及び子育て支援の団体・関係者の交流会（子育てネットワーク交流会）を実施します。

- ・ 子育てネットワーク会議：5月28日、2月
- ・ 子育てネットワーク交流会：11月頃

5 育児不安を抱える養育者への支援

育児不安を抱える養育者を対象に、育児に対する悩みや現在の心情を心理士が傾聴し、助言を行います。また、2歳児のイヤイヤ期への対応について学ぶ「2歳児講座」を開催します。

- ・ 2歳児講座：7月

6 虐待等相談及び養育支援事業

児童虐待を予防するため、養育にうまく対応できていない保護者に対して、訪問員や相談員が継続的な養育支援を行います。

7 地域が支える子ども達の居場所づくり事業

様々な課題を抱えた小学生等を対象に、生活習慣や学習習慣を身に付けられるきっかけとなるよう、地域の協力を得て、居場所づくり事業を実施します。(毎週火曜日(第5火曜日は除く))

8 学齢期の子どもや保護者への支援

未就学児のいる保護者を対象に、いわゆる「小1の壁」の不安を軽減するため、講演動画の配信や放課後児童育成事業の紹介を行い、あわせて、各小学校PTAの協力を得て同じ小学校に入学予定の保護者同士の情報交換の場を設けます。

- ・ 「小学校入学前に知っておきたい大切なこと～今から備える「小1の壁」～」(講演会動画配信及び情報交換会：9月)

9 「トツキトウカYOKOHAMA」を活用した命の授業

小学6年生を対象に、助産師や保健師による講義と保護者による詩集の朗読を通して、子どもの健やかな成長を願う保護者の気持ちや命の尊さを知り、自分や周りの人を大切にすることを育むため、学校や保護者等と協力して命の授業を区内の全市立小学校(22校)で実施します。(9月～2月)

10 赤ちゃんふれあい体験事業

中学生を対象に、乳幼児との触れ合いを通して、命の尊さを実感し、保護者への感謝の気持ちや子育てに対する意識を醸成するため、学校や地域の協力を得て、区内の全市立中学校(8校)の生徒を対象に実施します。(7月～8月)

10 保育所を拠点とした 地域子育て支援事業	R3 予算額	R2 予算額	増△減
	323 万円	343 万 5 千円	△20 万 5 千円

市立保育所の子育て支援機能を活用し、地域の親子に仲間づくりや身近な相談ができる環境を提供します。

1 おひさま広場（園庭開放）

市立保育所が、子育て中の保護者にとって地域の身近な子育て支援機関となるよう、保育協力者を配置して園庭を開放し、園庭で子どもを遊ばせながら、育児相談などができるようにします。

2 休日園庭開放

市立保育所の中川西保育園及び茅ヶ崎南保育園において、民生委員・児童委員など地域の方の協力者の見守りにより、毎月第3日曜日に園庭を開放します。

3 給食体験事業

地域の親子が市立保育所の給食を体験する場を設けます。また、市立保育所職員が、食事のとり方や作り方について保護者へ助言します。

4 ほいくえん広場

市立保育所、認可保育所及び横浜保育室等が合同で、保育所の遊びの紹介や育児相談などを行います。親子が参加しやすいよう、地域ごとに実施します。

- ・ Aエリア（仲町台周辺）：10月27日 せせらぎ公園
- ・ Bエリア（中川・北山田周辺）：11月12日 滝ヶ谷公園
- ・ Cエリア（茅ヶ崎周辺）：11月2日 都筑中央公園
- ・ Dエリア（池辺町、川和町周辺）：10月29日 都田小学校コミュニティハウス
11月10日 みどり保育園園庭

5 積木交流

市立保育所にある合計2万個の積木を使い、地域の親子が参加できる育児講座を開催するなど、「つみきのつづき」を広めていきます。（9月～11月）

11 つづき健康づくりサポート事業 (都筑区健康アクション!) 拡充	R3 予算額	R2 予算額	増△減
	284 万 1 千円	267 万 9 千円	16 万 2 千円

区民の自主的な健康づくりを支援するため、「都筑区健康アクション」に基づき庁内連携を進めるとともに、保健活動推進員、食生活等改善推進員、民間企業との協働により生活習慣病及びがんの予防、食育の推進を中心とした健康啓発を行います。

1 生活習慣病・がん予防啓発事業

健康寿命に影響を与える生活習慣病や死因の第1位を占めるがんについての正しい知識や情報を発信し、その予防方法についての啓発に取り組むとともに、特定健診・がん検診受診を勧奨します。

また、区民の運動習慣の定着を図るため、地域で健康づくりに携わる方を対象とした講座を開催します。

- ・ 生活習慣病予防、運動啓発パネル展：10月1日～10月7日、区民ホール
- ・ 3歳児健診保護者を対象とした乳がん啓発：月2回
- ・ がん検診啓発巡回パネル展：9月～10月 地域ケアプラザ5か所
- ・ 保健活動推進員等健康づくりリーダーを対象としたつづけるウォーキング講座：10月

2 食育推進事業

食育は生涯にわたるすべての世代に応じた間断のない大切なものです。特に、都筑区は15歳未満の人口割合が高いという特徴をとらえ、子どもたちとその保護者が将来にわたり健全な食生活を送ることができるようになることを目指します。

- ・ 子育て支援事業会場における乳幼児向けの食事相談：区内11か所、延べ22回
- ・ はじめての離乳食：8回、区役所
- ・ 保育園、幼稚園、小・中学校の食育担当を対象とした食育情報交換会：年2回（7月、12月）

3 地域の健康づくり応援事業

保健活動推進員や食生活等改善推進員の活動支援や合同の研修会を行うことにより、各推進員の地域の健康づくり活動への意欲向上を図るとともに、区民の健康づくりに取り組む意識を醸成します。

- ・ 保健活動推進員全体研修：5月31日
- ・ 保健活動推進員・元気づくりステーションリーダー等地域の健康づくり団体を対象としたオーラルフレイル予防普及啓発研修：9月4日

4 都筑区健康アクション事業

区民を対象とした健康体操イベントを実施し、日頃、運動習慣が無い方でも気軽に実践できる内容で、健康へ関心を持ってもらうきっかけを作ります。

また、引き続き「つづき つづける 健康づくり」のスローガンを広く伝えることで、健康アクションとして区役所が一丸となって取り組んでいることを区民に周知します。

- ・ 健康体操動画公開：8月
- ・ 健康体操イベント：年2回
- ・ 都筑区健康アクションデーでの健康に関する啓発（毎月第4木曜日）

5 1歳児の歯みがき教室【新規】

乳幼児歯科相談のニーズも高く、歯の萌出時期であり歯みがきに対する不安が大きい時期である1歳児とその養育者に対して、楽しい雰囲気の中で歯みがきの方法やう蝕予防に対する知識や技術を習得するための教室を開催します。（6月～2月、年7回実施）

6 健康づくり環境整備

国民健康保険の被保険者をはじめとする区民が健康づくりに関心を持てるよう、平成29年度から庁内において取り組んでいるストレッチ映像の放映や健康づくり文庫設置等を引き続き実施します。（健康づくり文庫は、新型コロナウイルス感染症対策のため、現在休止しています。）

12 地域で支える高齢者支援事業	R3 予算額	R2 予算額	増△減
	81 万 3 千円	82 万 8 千円	△1 万 5 千円

高齢者が住み慣れた地域で、その心身の状態に応じて自立意欲を保ち、互いに支え合い、安心して暮らし続けることができるまち“都筑”の実現を目指します。そのために認知症に対する正しい理解や介護予防の普及啓発を促進するとともに、地域で主体的に取り組む支援者を育成します。

1 認知症普及啓発事業

(1) 認知症フォーラム (年1回、9月)

都筑区内の方へ認知症の症状や治療方法、相談先、経過等、関連する情報を広く提供し、認知症だけでなく認知症の方や家族等への対応等についても、理解を深めるための講演会を開催します。

(2) 認知症サポート連絡会 (月1回)

地域の方や認知症に関わる団体等が集まり、認知症普及啓発活動の企画や課題検討、各グループの活動に関する情報交換を行います。

2 認知症人材育成事業

認知症に関する知識を習得し、地域での普及啓発等の活動に携わる人材を育成するための講座を実施します。

3 福祉保健情報提供事業

(1) 福祉保健情報コーナー「ふくほの森」の管理・運営

チラシ・パンフレットの配布や閲覧により、福祉保健に関する情報提供を行います。

(2) 高齢者向け情報提供資料の作成・発行

高齢者等からニーズが高い介護予防や認知症、区内施設等に関する情報をまとめた「都筑区シニア利用施設マップ」を窓口等で配布します。

13 障害者交流啓発事業	R3 予算額	R2 予算額	増△減
	115万2千円	115万2千円	0千円

障害者と地域住民との共生社会を目指し、障害者と地域住民との交流や障害者の社会参加を支援する福祉農園事業、障害者地域啓発事業、障害者施設支援事業を実施します。

1 福祉農園事業

障害者と地域の交流を行い、つながりを作る啓発事業を行います。

- (1) 障害児・者による芋の収穫体験（10月）
- (2) ～福祉農園～障害者と地域の共生フェスタ（12月）

2 障害者地域啓発事業

- (1) 区民まつり福祉バザー（11月3日）

地域住民が参加する区民まつり等において、障害児・者が参加しやすい環境をつくることにより、交流の機会とします。

- (2) 障害者グループホームの地域防災拠点防災訓練への参加支援（9月～2月）

障害のある方が、地域防災拠点の防災訓練に参加し、地域住民とお互いに顔の見える関係を築くとともに、障害者自身も拠点の役割や機能を知る機会とします。

3 障害者施設支援事業 （通年）

障害者の社会参加につなげるため、区民ホール、駅構内、商業施設等において障害施設が自主製品の販売活動を実施しています。この活動について区民への周知を支援します。

施策3 活力とにぎわい、魅力あふれるまち

14 メイドインつづき推進事業 重点 拡充	R3 予算額	R2 予算額	増△減
		582 万円	597 万円

都筑区の製造業の持つ高度なものづくり技術や独創的な製品、区内でとれた新鮮な都筑野菜などの「メイドインつづき」をPRすることにより、販路開拓や地産地消につながる支援を実施します。

1 中小製造業支援

(1) 技術展示会出展支援

神奈川県内最大級の工業技術・製品の総合見本市である「テクニカルショウヨコハマ」への出展支援を行うほか、都筑区ブース専属コーディネーターの配置を行います。

また、企業紹介冊子の作成等を行い、中小製造業の販路拡大を推進します。

・テクニカルショウヨコハマ 2022

会場展示：2月2日～4日、パシフィコ横浜

オンライン展示：2月上旬

(2) 中小企業向け支援講座

メイドインつづきに参加する企業を対象に、中小企業の課題である人材育成に関する講座を開催します。

(3) 事業PRイベント

区内企業と連携し、子どもたちがものづくりを体験できるイベントを実施するとともに、PR動画等の広報媒体を活用し、区内企業の活動紹介や地域の中小製造業の魅力の発信を行います。

・ものづくり体験イベント：

7月27日～8月2日、区民ホール（企業紹介パネル展を同時開催）

2 地産地消の推進

都筑野菜朝市の定期開催（概ね月3回）、区内農産物消費者と生産者のマッチング、都筑野菜マルシェセットの貸し出し、飲食店を巡るスタンプラリー等、都筑野菜の認知度向上のための取組を通じて、地産地消を推進します。

また、区内小学校への地産地消に係る出張授業や、広報よこはま都筑区版でのPRを行うとともに、都筑野菜を楽しむための料理教室を動画形式で開催します。

15 街のにぎわいづくり事業 重点 拡充	R3 予算額	R2 予算額	増△減
		641 万 9 千円	548 万円
<p>区民の皆様のふるさと意識の向上や、異文化交流によるつながりづくりを目的としたイベントを開催することで、街のにぎわいづくりを目指します。</p> <p>また、商店街の魅力地域に発信し、商店街活性化を図ります。</p> <p>1 都筑区民まつり</p> <p>区民の皆様に地域に対する愛着やふるさと意識を醸成していただけるよう、都筑区ふるさとづくり委員会とともに「第 27 回都筑区民まつり」を実施します。<u>(11 月 3 日)</u></p> <p>2 商店街魅力発信事業</p> <p>都筑区商店街連合会とともに商店街の魅力を区民の皆様に伝えるため、新たにリーフレットを作製する等の取組を行います。</p> <p>また、プロスポーツチーム等、都筑区の魅力的な資源と連携することで、効果的に区民の皆様と区内商店街とのつながりの創出を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>パネル展示：7 月</u> ・ <u>広報よこはま都筑区版での紹介：8 月、1 月～4 月</u> <p>3 都筑・ドイツ交流イベント事業</p> <p>センター北駅前の広場を会場に、ドイツの冬の風物詩であるクリスマスマーケットを都筑・ドイツ交流イベント実行委員会とともに開催します。</p>			

16 未来につなぐ オリンピック・パラリンピック事業 重点	R3 予算額	R2 予算額	増△減
		60 万円	91 万円

東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催に合わせて、大会の盛り上げと区民のスポーツへの関心向上を図るとともに、大会を通じて得られる感動や学びを未来に継承します。

特に都筑区は、横浜国際プールが英国水泳代表チームの事前キャンプ地になることや、つながりの深いボツワナ共和国が横浜市ホストタウン登録国となっていることから、「ホストタウン」としての取組を通じて、スポーツの振興や国際理解などに取り組みます。

1 英国水泳代表チームを歓迎する取組

東京 2020 大会に向けて横浜国際プールで英国水泳代表チームが事前キャンプを行うことから、英国水泳代表チームを歓迎する取組を実施します。(7月～8月)

2 ボツワナ共和国のホストタウン登録に伴う取組

これまでの都筑区とボツワナ共和国とのつながりや交流を踏まえ、ボツワナ共和国の理解の促進や応援する取組を実施します。(4月～10月)

17 文化活動支援・スポーツ振興事業	R3 予算額	R2 予算額	増△減
	262 万 9 千円	206 万 9 千円	56 万円

区民の皆様の文化活動を促進し、発表の機会を提供するとともに、地域住民のスポーツの普及活動を推進し、区民の皆様の健康向上や余暇時間の質の向上を図ります。

1 都筑区民文化祭事業

区民による区民のための手作りの文化祭の開催を支援し、世代を超えて都筑の文化を創ります。

- (1) ボランティアスタッフ、キャッチフレーズ募集：4月
- (2) ポスターデザイン画募集：7月～9月上旬
- (3) 参加者募集：9月～10月下旬
- (4) 第26回都筑区民文化祭：1月22日～2月6日

2 体育協会活動補助事業

都筑区体育協会に対し補助を行い、各種目別の区民大会の開催支援を行います。

3 都筑ふれあい健康マラソン大会事業

都筑区の魅力である自然豊かな緑道をコースとし、親子でも楽しめるマラソン大会の開催を支援することで、スポーツ振興と健康増進、異世代交流を図ります。(3月)

4 都筑スポーツ・文化賞事業

スポーツ・文化の分野においてめざましい活躍、顕著な功績のあった都筑区にゆかりのある方々を表彰し、さらなる活躍を期待するとともに、スポーツ・文化活動への関心を高めます。(1月)

5 地域の読書活動推進事業

第2期「都筑区読書活動推進目標」(令和元年度改定)に基づき、みゃーごとちゅーずのおでかけ図書館やつづきブックフェスタ等の事業および読書懇談会を実施し、区内の読書活動を推進します。

- (1) 読書懇談会：6月、3月
- (2) ブックフェスタ：11月
- (3) 郷土史講演会：2月
- (4) おでかけ図書館：通年、区内各所
- (5) 本の修理ボランティア養成講座：1月

6 パラスポーツ関連イベントの開催

パラスポーツの普及啓発につながる講演会や体験イベントを開催します。(12月)

18 都筑 国際交流プログラム 拡充	R3 予算額	R2 予算額	増△減
		203 万円	140 万円
<p>区内在住の外国人の皆様が安心して暮らし、活動できるまちづくりを推進します。 また、ボツワナ共和国などアフリカとの交流を発展的に継続していきます。</p> <p>1 都筑多文化・青少年交流プラザ事業 外国人への情報提供や多文化交流、青少年の地域活動及び区民活動の場を提供するため、「都筑多文化・青少年交流プラザ（つづきMYプラザ）」に以下の事業の運営を委託します。</p> <p>(1) 国際交流・外国人支援事業（国際理解教室、第8回都筑・ボツワナ交流児童画展など） 外国人のための生活情報提供や外国人支援ボランティアの養成を行います。 また、国際理解の促進のためのイベントや、ボツワナ共和国をはじめとするアフリカとの交流事業を実施します。</p> <p>(2) 市民活動支援 日本語ボランティアなどの市民活動団体やグループ等へ活動場所を提供します。 また、現在対応していない言語について、体制を強化します。</p> <p>2 外国人支援事業【新規】 区内在住外国人及び地域住民に向けた防災対策・コミュニティ作りの支援を実施します。</p>			

19 横浜ビー・コルセアーズ応援事業	R3 予算額	R2 予算額	増△減
	60 万円	60 万円	0 千円

平成29年3月に横浜ビー・コルセアーズ、都筑区連合町内会自治会、都筑区の三者で「ホームタウン活動の協力に関する基本協定」を締結しました。この協定に基づき、横浜ビー・コルセアーズのPR活動や地域に根差したチーム作りを支援するとともに、チームの協力も得ながら事業を展開することにより、市民スポーツの振興や地域活性化を図ります。

1 地元ファン層の拡大に向けた取組の実施

区内の中学校と連携して、横浜ビー・コルセアーズの選手が参加するバスケットボール教室を開催するとともに、横浜ビー・コルセアーズを応援する企画を実施し、地元ファン層の拡大を図ります。

- (1) バスケットボール教室の開催：8月、区内中学校体育館
- (2) 開幕カウントダウンボードの設置：8月～9月、区民ホール
- (3) 応援パネル展の実施：9月～10月、区民ホール
- (4) 広報よこはま都筑区版での紹介：12月

2 都筑区応援 day の実施

横浜ビー・コルセアーズの本拠地である横浜国際プールでの試合日の中で、地域の皆様に試合の観戦機会を提供する都筑区応援dayを実施します。(9月以降1回)

3 商店街との連携支援

横浜ビー・コルセアーズと商店街との連携企画、イベントの広報協力を行うことで、チームと商店街の連携を引き続き支援し、地域に根差すチーム作りと地域活性化を図ります。

施策4 安全・安心なまち

20 災害にそなえる 自助・共助の推進事業 重点 拡充	R3 予算額	R2 予算額	増△減
		445万2千円	462万3千円

地域防災拠点運営委員向けの研修会及び防災・減災講演会等を開催するとともに、「災害時要援護者支援事業（つづき そなえ）」により、地域における支えあいの取組を支援することで、自助・共助の取組を推進し、地域防災力の向上を図ります。

1 地域防災拠点運営委員会の運営支援

地域防災拠点運営委員を対象として、地域防災拠点の開設・運営などに関する研修会を開催するとともに、地域防災拠点における訓練を支援します。

- ・ 都筑区地域防災拠点運営委員会連絡協議会（5月19日）
- ・ 地域防災拠点運営委員研修会（6月26日、7月3日）

2 地域防災拠点の通信機器等の整備

災害発生時における情報通信基盤として、区本部と各地域防災拠点との通信を確保するため、各地域防災拠点に配備しているアマチュア無線機器等について、総務省の無線設備規則の改正に対応するため、令和2年度に引き続き、令和3年度は9台の更新を進めます。

3 防災・減災講演会、出前講座及び自治会町内会向け研修会の開催

大規模地震や風水害への備えなどについて区民や自治会町内会等を対象とした講演会等を開催し、防災・減災に関する意識啓発を図ります。

4 災害時要援護者支援事業（つづき そなえ事業）

災害時に自力避難が困難な要援護者の安否確認や避難支援等が円滑に行われるよう、また、地域での要援護者支援活動がより多くの対象者に行き届くよう、希望する地域に対して災害時要援護者名簿の提供を行います。また、連合自治会町内会に対し、補助金の交付を行うほか、地域の方や関係機関と避難行動支援に関する意見交換を行う場を設けるなど、地域の実情に合った要援護者に関する活動等を支援します。

5 鶴見川水系水害に関する連絡会の開催

区内を流れる鶴見川・大熊川、早淵川の流域にお住まいの地域の方とともに、地域の現状や課題、発災時に備えた取組などについて意見交換を行い、地域と一体となって水害対策に関する取組を進めます。

6 今すぐ取り組む健康づくり

健康づくりの観点から作成した災害時にも役立つ「食の備蓄」「口腔ケア」「衛生対策」に関する冊子を活用し、様々な機会をとらえて平常時からの備えについて啓発します。また、感染症予防啓発のため作成した、ペットボトルを利用した適正な濃度の消毒液の作り方シールについては新型コロナウイルス感染症にも対応した濃度で作成し、保育施設や高齢者施設等に配布し、感染症防止を図ります。

- ・ 災害時にも役立つ冊子：令和2年度（15,000部作成 約6,600部配布）
： 令和3年度（8,700部作成 班回覧（4月：4,200部）、
転入者向けウエルカムキット（4月：1,000部）配布）
- ・ 消毒液の作り方シール：感染症対応指導者研修（高齢者施設及び保育施設職員対象）
（9月）
感染症パネル展で配布（10月28日～11月1日）

7 災害時のペット対策事業

各地域防災拠点訓練等で、「災害時のペット対策」についての啓発・支援を行います。風水害時開設避難所でのペット保管場所設置のための物品を備蓄します。

21 危機管理対策推進事業 重点 拡充	R3 予算額	R2 予算額	増△減
	1,260万2千円	941万円	319万2千円

大雨や台風による河川の氾濫を想定した水防訓練、地震により負傷者が多数発生したことを想定した災害医療対策訓練などの各種訓練を通じて、関係機関・団体との連携を図ります。これに加えて、区災害対策本部運営訓練を実施し、区本部体制の強化を図ります。

また、感染症対策を踏まえた避難場所運営に必要な資器材の維持管理・整備や、災害時に迅速かつ的確な情報発信・収集をするため、緊急時情報伝達システムの運用を進めます。

1 関係機関と連携した災害対応力の向上

(1) 「災害対策連絡協議会」や「帰宅困難者対策部会」を開催し、警察署等の関係機関・団体と情報共有や意見交換を行います。

・災害対策連絡協議会（5月13日）

(2) 「地域医療・保健体制に関する都筑区危機管理対策協議会」や「災害医療連絡会議」を開催し、区医師会等の関係機関・団体と災害医療に関する情報共有や意見交換を行います。

(3) 警察署及び消防署等と実施する水防訓練や、区医師会等と実施する災害医療対策訓練及び交通事業者や帰宅困難者一時滞在施設等と実施する帰宅困難者対策訓練を通じて、関係機関・団体との更なる連携強化を図ります。

・早淵川水防訓練：6月19日 大榎町内会エリア、中川小学校

(4) 区災害対策本部運営訓練を実施することで、区職員の災害対応力を向上させ、区本部体制の強化を図ります。（9月、1月）

2 防災啓発事業の実施

発災時に迅速かつ的確な避難行動を取っていただくために、防災・生活マップやハザードマップを増刷の上区民の方へ配布し、日頃から避難所の位置や避難行動について理解を深めていただけるように、災害対策について啓発を図ります。

3 風水害対策等の推進

(1) 感染症対策を踏まえた避難場所運営を行うため、間仕切り等の防災用資器材を引き続き整備していくとともに、手指消毒用アルコールやマスクなどの消耗品について、使用状況に応じて補充していきます。

(2) 防災用スピーカーを、鶴見川付近に1基増設します。

・折本町西耕地公園に増設（折本町154番5：6月下旬運用開始）

4 緊急時情報伝達システムの運用

災害発生時又は災害発生が見込まれる際に、区内の自治会・町内会長等へ避難情報等を一齐に電話で知らせるシステムを引き続き運用します。

・緊急時情報伝達システムの受伝達訓練：6月4日

	R3 予算額	R2 予算額	増△減
22 安全・安心なまちづくり事業	978 万 2 千円	978 万 2 千円	0 千円

交通安全啓発・スクールゾーン協議会支援等交通安全運動、及び放置自転車対策事業を実施し、区民の皆様の安全を守ります。さらに、犯罪を未然に防ぎ、区民の安全で安心なくらしを実現するため、防犯活動を支援します。

1 交通安全運動

都筑区交通安全対策協議会を中心に、都筑警察署等関係団体と連携しながら交通安全運動を実施します。さらに、日々の交通安全運動に貢献された皆様に顕彰します。

また、子どもたちの安全・安心のため、学校や警察と連携し、スクールゾーン標示の整備や交通安全啓発等を実施し、各小学校のスクールゾーン・防犯対策協議会の支援を行います。

2 放置自転車対策事業

自転車等放置禁止区域（センター南、センター北、仲町台、ふれあいの丘、北山田、東山田、中川、川和町、鴨居の各駅周辺）において適切な自転車利用を行うよう、監視指導を行う監視員を配置します。

3 地域防犯活動推進事業

地域防犯活動を行う自治会町内会及び地域の自主防犯のための青色回転灯パトロール隊に対し助成金を交付するとともに、研修会を行うなど活動を支援します。

23 食と暮らしの安全推進事業 拡充	R3 予算額	R2 予算額	増△減
		93 万 1 千円	91 万円

食の安全、暮らしの衛生、動物の適正飼育を推進する取組を実施します。

1 食の安全確保事業

(1) 食品取扱施設の衛生確保事業

横浜市食品衛生監視指導計画に基づく食品取扱施設への監視指導を、効果的・効率的に実施します。特に、抵抗力が弱い高齢者等を対象に食事を提供する施設や食中毒を起こしやすい食品を提供する施設については、検査機器を用いて調理器具や従事者の手指等の清浄度を数値化することにより、わかりやすい衛生指導を行います。

・拭取り検査を併用した衛生指導：

9月～3月、小学校・社会福祉施設関連給食施設 70 施設

(2) 食の安全に関する情報発信事業

食中毒予防パネル展や地域活動の担い手に向けた出前講座の実施により、食中毒予防に関する情報を発信します。イベントや講座では、手洗い方法を示したクリアフォルダを活用した実技指導などにより正しい手洗い方法を周知します。

また、消毒液の適切な使用方法をプリントしたステッカーを用いて、ノロウイルス食中毒や感染症予防についても周知します。

・食中毒予防パネル展：6月～12月、5回

2 暮らしの衛生確保事業

(1) 動物、昆虫等による被害防止に対する支援

区民生活における猫・ネズミ・ハチなどの被害に対する支援として、被害防止器具の貸出しなどを実施します。

(2) 区民が利用する施設の衛生確保の推進

検査機器を用いて、理美容所で使用する器具等の清浄度を数値化することにより、わかりやすい衛生管理指導を行います。

・拭取り検査を併用した衛生指導：

10月～11月、理容所・美容所 40 施設

3 動物適正飼育推進事業

動物愛護週間に長寿ペット表彰、飼い主セミナー等を実施するとともに、ペットの飼育マナー及び適正な飼育などに関する啓発を実施します。

<動物愛護週間 9月20日～26日：環境省（動物愛護管理法第4条）>

・区民ホールにて、グッズ等啓発用品の展示：9月21日～27日

・長寿ペット表彰（大型犬（13歳以上）、中小型犬（15歳以上）、猫（17歳以上））

・飼い主セミナーの開催：9月24日

施策5 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち

24 ハマロード・サポーター、 愛護会等活動推進事業	重点 拡充	R3 予算額	R2 予算額	増△減
		478万9千円	465万9千円	13万円

身近な道路や公園等を清掃、維持管理するボランティア団体や個人に対して都筑区の実情に応じた支援を行い、活動の活性化を図ります。

1 ハマロード・サポーター事業

清掃等の美化活動の支援に加えて、各団体が活動拠点で行っている花壇づくりのための花の種や苗などを提供します。高齢者や小・中学生などの夏の暑い時期の活動に配慮した支援をします。

また、「道路ふれあい月間」等で活動をPRするとともに、パネル展等を開催します。

団体数：45 団体（5月末現在）

2 愛護会活動推進事業

愛護会の総会・幹事会等の各種会議を運営支援し、パネル展やPR活動を実施します。

公園の面積が広く、愛護会活動が活発な都筑区では、東方公園のほ場*で愛護会向けの花苗などを生産し、提供します。また、ほ場の増設を検討します。

団体数：155 団体（公園愛護会 152 団体、水辺愛護会 3 団体）（5月末現在）

*ほ場：草や花を栽培するための場所

3 活動ステップアップ相談事業

専門的な支援を求める団体からのニーズに応えるため、外部アドバイザーによるサポートを行います。

また、支援ニーズへの対応や担い手を増やすための施策、自転車の通行ルール・マナーの周知・啓発のより効果的な手法の検討を行うにあたっての助言を外部から得ます。

4 都筑^{りよくか}緑花塾事業

ハマロード・サポーター、公園愛護会、水辺愛護会を対象に、より高質な緑花を推進するための技術講座を開催します。

あわせて、講座を通じて都筑区の実態に適した園芸手法の普及を支援します。

・ナチュラルガーデン講座 実施状況・予定

回	開催日	参加人数	場所	内容
1	5/11	16 人	都筑区内の緑道・公園	現地調査及びほ場・見本園の場所検討
2	6/8	—	ふじやとのみち	場所に適した植物の検討
3	10/12	—	ふじやとのみち	地拵えから植栽までの実習作業
4	11/9	—	ふじやとのみち	球根植付、看板作り、まとめ

5 ちょっとボランティア推進事業

「ちょっとした掃除等なら個人的に協力できる」といった潜在的な区民協働の担い手の方々に、緑道など身近な公共空間の美化・清掃等に取り組んでいただくにあたり、土木事務所としてサポートできること、活動に当たって留意いただきたい点などをまとめた案内カードを配布します。また、活動に必要な道具や清掃用品を提供します。

案内カードの内容は、土木事務所のホームページにも掲載します。

25 環境にやさしいまち推進事業 拡充	R3 予算額	R2 予算額	増△減
		223 万 9 千円	212 万 2 千円

「SDGs の達成につながる取組」、「温暖化対策」及び「3 R 夢プランの推進」を一体的に進めていくことで、地球環境にやさしいまちづくりを推進します。

1 SDGs 啓発

親子向け体験型ワークショップ、プラスチック問題の解決に向けたきっかけづくり、家庭で取り組む3 R 行動の紹介等を通して、地球温暖化や環境問題の観点から SDGs について学ぶ SDGs 環境フェアを開催します。

・SDGs 環境フェアパネル展・イベント：2月24日～3月3日（3 R 夢週間と同時開催）

2 温暖化対策

区庁舎に設置されている緑のカーテンの維持管理を行うとともに、区内小中学校を対象に緑のカーテンの設置支援を行います。また、緑のカーテンの育て方マニュアルを作成し （5月）、普及啓発を行います。

3 クリーン・ヨコハマ3 R 夢推進事業

(1) クリーン推進事業

きれいな街を推進するため、自治会町内会等が実施する地域清掃の支援、駅周辺のゴミ捨て防止啓発、不法投棄防止対策、農業専用地区の一斉清掃の支援を行います。

・清掃ごみ袋配付による地域清掃の支援：18 団体（5月末現在）

(2) ヨコハマ3 R 夢推進事業

3 R 行動推進のため、つづき3 R 夢週間をはじめとする各種イベントや赤ちゃん会など様々な機会を活用した市民等への啓発、「つづきっこ読書応援団」との協働によるリユース図書の募集・配付などを行います。

食品ロス削減に向けて、資源循環局などと連携し取組を進めていきます。

・つづき3 R 夢週間パネル展・イベント：7月23日～26日、2月24日～3月3日

・赤ちゃん会での3 R 夢啓発：9月～3月（14会場）

・リユース図書の配付：11月（区内小学校等）

・フードドライブ常設実施に向けた検討及び環境等整備

4 都筑区地球温暖化対策・3 R 夢推進会議

街の美化や3 R 夢普及啓発の取組が顕著だった団体・個人を表彰しました。また、温暖化対策・3 R 夢に関する情報を共有する会議についてはコロナウイルス感染拡大防止のため書面開催としました。

・表彰式（3 団体、9 個人）：5月28日

26 つづき水と緑の魅力アップ推進事業	R3 予算額	R2 予算額	増△減
	51 万 5 千円	256 万 5 千円	△205 万円

環境創造局と連携し、区内の貴重な緑地の保全や農地の活用を進めます。

さらに、引き続き都筑区花いっぱい運動に取り組むことで、花や緑を大切にすることを醸成します。

また、「都筑区水と緑の散策マップ」を用いて、都筑区の環境資源の魅力を発信します。

1 都筑区花いっぱい運動の推進

(1) 花と緑の親しみづくりイベントの開催

区制 25 周年を契機に選定した「つづき みどりと花の名所 25 選」及び市民の森を巡るウォーキングイベントを開催することで、花や緑を大切にすることを醸成するとともに、区内の貴重な環境資源の魅力を発見する機会とします。

・つづき みどりと花のまち巡り：5月、11月、2月

(2) 「早淵川・老馬谷ガーデン (HRG)」の維持・管理

地域及び東京都市大学と連携し、早淵川沿いの緑の拠点であるHRGの維持・管理に引き続き取り組みます。

2 「都筑区水と緑の散策マップ」の活用

「都筑区水と緑の散策マップ」を活用し、都筑区の環境資源の魅力を市民に発信します。